日本ボーイスカウト神奈川連盟 団 委 員 長 各位 地 区 役 員 各位 県 連 役 員 各位

日本ボーイスカウト神奈川連盟 県コミッショナー 清水 裕

<u>神奈川連盟新型コロナウイルス対応(第 20 報)</u> =「緊急事態宣言」解除=

政府は、神奈川県に発出していた緊急事態宣言を、9月30日で解除すると発表しました。 最近、新規感染者数は顕著に減少し、医療の負荷も改善傾向にあります。神奈川県のモニタリング状況でも、6項目全ての指標がステージ4を下回るようになりました。

神奈川県知事は9月28日、県民に対する要請を段階的に緩和するとして、県内の飲食店等に対する措置を発表しましたが、スカウト活動に関連するものは特段ありませんでした。 県教育委員会から県立学校への要請もまだ発表されていません。

政府が9月28日にまとめた「新型コロナウイルス感染症に関する今後の取り組み」では、 「日常生活の回復」として、以下の通り発表されました。

- ① 都道府県をまたぐ人の移動についてワクチン・検査を受けた者は、国として自粛要請の対象に含めない。
- ② 不要不急の外出について、混雑した場所や感染リスクが高い場所を訪れる場合を除き、 ワクチン接種の有無にかかわらず国として外出自粛要請の対象としない。

【神奈川連盟の措置】

緊急事態宣言解除を受け、神奈川連盟では 10 月 1 日以降の措置として、以下に掲げるコロナ感染防止措置を十分に摂った上で、県内におけるスカウト活動の自粛を解きます。あくまでも団や地区の判断ではありますが、活動を再開して頂いて結構です。ただし若年層~壮年層へのワクチン接種が進んでいるとは言い難い※状況であることから、県外への移動を伴うスカウト活動、及び県外の宿泊を伴うスカウト活動については当分の間、自粛を継続してください。「県外旅行申請の受理手続き」の休止は継続します。

※ 12-19 歳 17%、20-29 歳 32%、40-49 歳 43%、50-59 歳 61%、60-64 歳 74%、65 歳以上 88% (9/26)

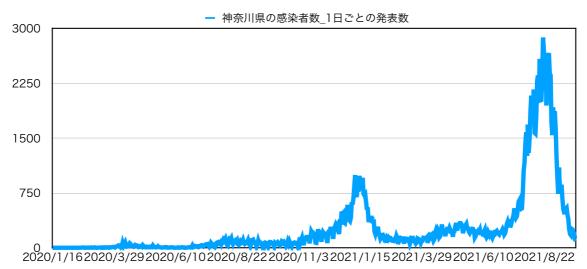
【変異株に対する有効な対策】

- 9月29日神奈川県のデータでは、デルタ株の患者の割合は85%を超えています。「新型コロナウイルス感染症対策分科会」では、変異株に対する感染防止対策として、以下の提言がなされています。活動を行う際は、特に注意をして活動を行ってください。
- ① 三密(密閉、密集、密接)が重なると集団感染のリスクが高くなるとされてきましたが、変異株の場合、密閉、密集、密接の一つだけでも感染リスクが高まります。換気は極めて有効な変異株感染対策ですので、換気には今まで以上に注意を払い、できる

だけ屋外での活動を考慮してください。

- ② 換気を行い、マスクの着用をしていたにも関わらず、長時間近くにいることで感染します。変異株の場合、同じウイルス量でも感染しやすいことや、感染者から排出されるウイルス量がより多いことが考えられます。<u>活動をできるだけ短時間で行うことは</u>有効な変異株対策です。
- ③ 不適切なマスクの着用が感染の一因とされています。マスクを鼻にフィットさせた<u>し</u>っかりとした着用を徹底し、フィルター性能の高い不織布マスクを着用すること。
- ④ 出来る限り、テレワークを行うこと。これまでに培ったノウハウを生かし、集会や研修などでWeb上でできるものは極力Webで行ってください。
- ⑤ <u>体調不良時には絶対に活動を行わず</u>、感染が不安な場合は、「新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル」に問い合わせてください。https://www.pref.kanagawa.jp/docs/ga4/covid19/support.html
- ⑥ 活動後等の指導者同士の飲食は自粛を継続し、極力避けてください。どうしても実施 する場合は4人以内で神奈川県の各種要請を厳守してください。

【活動に生かす今後の感染予測:参考】



上のグラフは 2020 年 1 月 16 日~2021 年 9 月 28 日までの神奈川県の一日当たりの感染者数 (NHK) を筆者がグラフ化したものです。ピークは 2021 年 8 月 20 日の 2,878 人で、昨日 28 日は 128 人まで下がりました。第 5 波までの各ピークが見られます。

Google 社から公開されている COVID-19 Public Forecasts の神奈川県予測値は、向こう 28 日間は最近の減少傾向が続くと予測しています。

一方、名古屋工業大学の愛知県の AI の予測データでは、ワクチン効果で 11 月位までは減少傾向が続くと見られるものの、早めにワクチンを打った人から効果が薄れていく等のため、12 月頃から徐々に増え、来年 1 月半ば位に「第 6 波」が来ると予測しています。こうした予測はあくまで予測ですから実際にその通りにならないかも知れませんが、一定の科学的根拠がある予測は、今後の活動計画に生かしても良いかも知れません。